



農機による交通死亡事故発生!

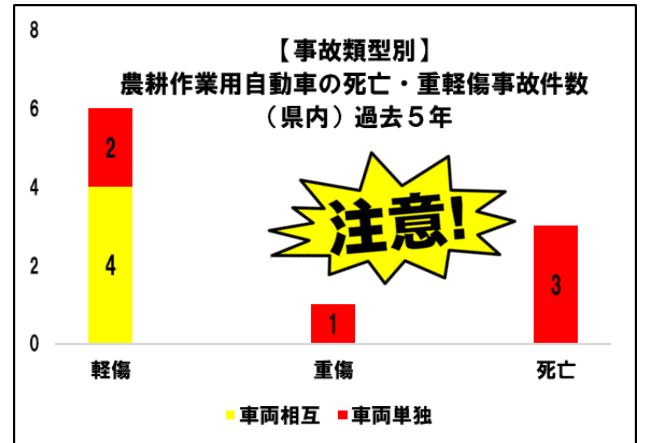


確実な運転操作を!

5月6日(水)午後4時頃、山陽小野田市大字有帆の市道上において、トラクタを運転中の50代男性がトラクタごと路外に転落して亡くなる交通事故が発生しました。

過去5年間、農耕作業用自動車の交通事故で10人の方が死傷しており、そのうち重傷・死亡事故は全て**単独事故**となっています。

確実な運転操作と予防対策で農作業中の交通事故を防止しましょう。



防止対策!

交通事故防止対策の3つのポイント

対策と準備が重大な事故を防止します!



道路下への転落・横転 = 車両単独事故

① 確実な運転操作とブレーキ連結の確認



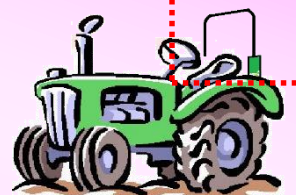
地盤の緩い路肩や傾斜地を走行すると、農機の重みでバランスを崩して操縦者が田畑や水路に転落したり、横転した農機の下敷きになったりするなど**重大な事故**に繋がります。

不安定な路面走行を回避するなど、慎重な運転に努めましょう。

② 安全キャブ・フレームの装着とシートベルトの着用

安全キャブ

安全フレーム



他車との衝突・追突 = 車両相互事故

③ 低速車マークや反射板の取り付け

後続車から見えやすい位置に「**低速車マーク**」や「**反射材**」を貼付しましょう!

反射材
蛍光材



装着時



低速車マーク



道路を走行する前に泥やロータリ一部等で隠れていないか確認しましょう!

